



令和5年8月1日発行  
第71号

# ながわまち 議会だより

■発行／長野県小県郡長和町議会■

■編集／広報常任委員会■

## ●長和町議会 令和5年6月定例会

- ◇ 町長提案理由の説明 ○○○○○○○○ 2
- ◇ 審議結果 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 3
- ◇ 常任委員会審査報告 ○○○○○○○○ 4
- ◇ 一般質問 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 6
- ◇ 懇談会 ■ 視察研修 ■ 議会報告 ○○ 15
- ◇ 長和町「あの人を訪ねて」 ○○○○○ 20

★中山道和田峠(古峠)から中央アルプスを望む★  
(19ページに写真の説明を掲載しています)



# 6月議会

長和町議会 令和5年6月第2回定例会が、長和町役場議場に於いて、5月31日(水)から6月15日(木)までの16日間の会期で開かれ、報告4件、発委1件、承認案10件、令和5年度補正予算案4件について審議を行いました。すべての議案が、全員賛成で、承認・可決されました。また、8人の議員が町の様々な課題について、一般質問を行いました。

## 町長提案理由の説明

地球温暖化・景観対策担当課長を配置し、  
再エネや地球温暖化対策に取り組みます



地域経済や住民生活の支援、物価高騰対策に30の事業を実施しました

5月8日より新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、インフルエンザと同様に移行し、行政の対応も個人の選択を尊重し、コロナ禍からの正常化の動きは強まる方向にあります。また、消費者の意識も変わり、物価高が続く中でも個人消費は回復の

動きを続けることが予想されています。コロナの感染者も、都市部でやや増加傾向となったものの、当地域においては横ばい傾向となり、ひとまず安堵しております。

長和町におけるワク

チン接種については、感染症5類移行前の5月7日現在、12歳以上のオミクロン株対応ワクチンの接種率は78.4%(長野県の接種率は62.6%)となり、県内でも高い接種率となりました。円滑に事業を推進することができましたことに改めてお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した令和4年度事業

は、感染拡大の影響を受けた地域経済や住民生活を支援の他、燃料費や物価高騰対策も講じ、「町民の生活を支援する給付金交付事業」、「みんなで応援！長和の里地域いきいき券販売事業」、「水道料金の基本料金無償化事業」など、総事業費約1億8650万円を充て、30の事業を実施しました。

和田宿ステーションが道の駅に登録されました

和田宿ステーションは、令和元年度に売り場の拡張工事を行い、令和4年度は公衆トイレ及び駐車場の改修工事を実施。併せて道の駅認定の申請を行い、2月末に道の駅に登録となりました。現在、国道に道の駅の看板を設置する予定となっており、看板設置に併せて道の駅として供用開始のセレモニーを開催する予定です。

マイナンバーカードの申請状況は、4月30日現在の申請率で、84.69%(4925件)。また、全国のコンビニで住民票等の各種証明書が受け取れるコンビニ交付サービスは2月よりスタートし、4月までの3か月間で191件の利用がありました。住民票などの誤交付やマイナ保険証に関するトラブルが報告されていますが、長和町ではトラブルの報告はありません。

この4月から、役場の一部の組織体制を変更しました。昨年8月の「長和町気候非常事態宣言」により、省エネルギーの徹底、自然と調和した再生可能エネルギーや地球温暖化対策への取り組みは必要不可欠であり、これらに伴う総合計画や実行計画の策定とその計画をしっかりと推進するため、地球温暖化・景観対策担当課長を配置し取り組みと致しました。(抜粋)

## 令和5年6月 第2回定例会 審議結果

令和5年6月長和町議会第2回定例会において審議された議案は、すべて全員賛成で、承認・可決されました。以下に、審議された議案とその主要内容と質疑を、抜粋して掲載します。

すべての審議結果は、議会ホームページをご覧ください。(右記QRコードから)



専決処分した令和4年度長和町一般会計補正予算(第13号)の承認について

既定の予算総額から1億4022万1千円を減額し、予算総額を65億2970万円とする

■ 行政事務包括業務委託繰入金(大門財産区分)430万3千円の減

問 繰入金減額の内訳は何か。

答 行政包括業務委託の職員で、当初採用する予定であった職員1名分が減額になったものである。

問 この補正予算で、会計年度職員数が12名減となっているが、職員数は充足されているのか、また業務に支障はないのか。

答 今補正予算の会計年度任用職員数の減については、主に新型コロナウイルスに關する職員の減によるものである。

令和5年度長和町一般会計補正予算(第4号)について

既定の予算総額から334万5千円を増額し、予算総額を57億3978万4千円とする

問 ふるさと納税の寄付金が217万9千円の減となっているが、実績額は。

答 令和4年度の寄付額は1282万1千円である。支援業務委託での歳出は540万円ほど、システム使用料が約61万円であるので、約679万円がふるさと納税のプラス分となる。

■ 昨年度から始まった「中山道東信濃路「峠の力餅」復活プロジェクト事業が、県の地域発元気づくり支援金に事業採択された。これに伴い事業費143万5千円を追加する

問 力餅は商標登録しているのか。また、全国での競合は。他の町内事業者の参入予定はあるか。

答 商標登録は今後検討する。



中山道「峠の力餅」

「力餅」という名前全国にたくさんあるが、由緒ある東餅屋の力餅、中山

道の三國一の力餅という背景を考慮して取り組んでいきたい。他の事業者の参入については今後検討する。

問 色々な種類の力餅を試作するとあるが、最終的に1つにまとめるのか。様々なバリエーションが出てきた際は町の新たな名産品として活用していくのか。

答 昨年度の段階で、味噌餡にしたり色々取り組んできた。磨きをかけて「峠の力餅シリーズ」という形で販売したい。

問 財源は、この支援金とその残りは。

答 元気づくり支援金が112万7千円、残りの30万円は町の一般財源を使う。

■ 長門牧場のレストハウス外のテラス部分軒天井が傷み、崩落の危険があるため、その修繕費58万円を計上

問 施工面積はどれくらいか。

答 天井のパネル20枚を交換する。

問 財源は。

答 レストハウスは町の指定管理施設であるので、町で対応する。財源は一般財源である。

■ ケーブルテレビ自主放送機器の緊急更新。7年間のリースで、1年249万円ほどを見込む。財源は、有線放送施設改善基金を充当する

問 財源の有線放送施設改善基金は現在いくらあるのか。

答 令和4年度の見込みでは4345万円程の残高になっている。



社会文教常任委員会審査報告



田福光規 委員長

社会文教常任委員会

委員長／ 田福 光規  
副委員長／ 荻野 友一  
委員／ 阿部 由紀子  
羽田 公夫  
森田 公明

社会文教常任委員会は、6月8日(木)に委員会を開催し、令和5年度一般会計補正予算、特別会計補正予算について審査し、すべての議案が全員賛成で可決すべきものと決定されました。

令和5年度長和町一般会計補正予算(第3号)について

既定の予算総額に3224万1千円を追加し、予算総額を57億3643万9千円とする

■ 永代人馬施行所屋根

修理工事等に324万8千円の増

**問** 中山道を歩く人向けの休憩所やトイレを設置する予定はあるか。

**答** 和峠山中の道沿いに設置された2カ所のトイレは老朽化が進み

現在使用できない。歩行者や宿泊業者、地元からの設置の要望もあり、仮設トイレ2基の設置を目指し、産業振興課と調整している。

**問** 商工分野と連携して常駐でなくとも、永代人馬施行所に、週末に売店を設けてトイレを設置するといった観光面での活用は。

**答** 中山道を歩かれる方は主にビーナスライン沿いの和峠茶屋のトイレを利用していると聞いている。旅行代理店などには、道中にトイレがないため、ビーナスライン沿いの三峰茶屋や八島湿原のトイレを利用するように案

■ 永代人馬施行所(接待)

の湧き水は利用者が多く、ある程度の売上げも期待できると思われる。産業振興課とも相談しながら考えたい。

**問** 観光バスでの利用者等に、トイレについてどのような説明をしているのか。

**答** 中山道を歩かれる方は主にビーナスライン沿いの和峠茶屋のトイレを利用していると聞いている。旅行代理店などには、道中にトイレがないため、ビーナスライン沿いの三峰茶屋や八島湿原のトイレを利用するように案

内している。

■ 永代人馬施行所の屋根の葺替えは、前回はいつ実施したのか。また、今後も定期的な葺替えが必要となるが、茅葺屋根からトタン屋根に変えるといったことはできないのか。

**答** 前回は平成19年度に行っているが、気候の変動や周辺樹木の影響により、当初の見込みより4〜5年早く葺替えとなった。茅葺屋根

■ 文化財保護費で、地域おこし協力隊1名分332万9千円の増

**答** 立岩和紙の保存に係わる地域おこし協力隊は、昨年12月に1名着任したばかりだが、どのような経緯で増員とするのか。

は、和村時代に、補助事業により往時の姿で復元整備することで国の史跡指定を受けており、屋根材の変更は難しいと思う。

**問** 立岩和紙の保存・伝承に向けて、保存会をはじめとする地域との連携ができれば教育費から支出する意味がない。その点の展望はどうか。

**答** 和紙の里から紙漉き体験利用者の増加に伴い人員増加の要望があり、立岩和紙の保存伝承と情報発信、商品開発を強化する目的も合わせ、新たに募集を行うもの。



永代人馬施行所(接待)

**答** 保存会や協力隊員との打ち合わせで、保存・伝承のために和紙づくりのデータベース化、マニュアル作成をミッションとして隊員に依頼している。新たに加わる隊員にも、引き継いでほしいと考えており、今後、若い人が保存会の中に入り活動してほしいと思う。(抜粋)

総務経済常任委員会審査報告

総務経済常任委員会

委員長／原田 恵召  
副委員長／佐藤 恵一  
委員／龍野 一幸  
小川 純夫  
渡辺 久人

総務経済常任委員会は、6月9日(金)に委員会を開催し、令和5年度一般会計補正予算、特別会計補正予算について審査し、すべての議案が全員賛成で可決すべきものと決定されました。



原田恵召 委員長

令和5年度長和町観光施設事業特別会計補正予算(第1号)について

■ 学者村山の家広場東屋建設工事費109万円の増

問 資材価格が高騰したとのことだが、主に向が値上がりしたのか。

答 東屋の基礎部分に使用するコンクリートの価格が、既定の価格の1.5倍となったこと

が主な原因である。

問 歳入においては財政調整基金から繰り入れるとのことだが、一般会

計の基金から繰り入れるのか。

答 一般会計ではなく、観光施設事業特別会計における財政調整基金繰入金を増額する。



学者村山の家広場東屋建設工事

■ 訂正 前号、議会だより第70号11ページの総務経済委の審査報告最初の問に誤りがありました。「東屋を学者村第2期に」となっていました。訂正します。

■ 健康保険法の改正に伴う出産育児一時金の支給額の変更に係る補正16万円の増

問 出産育児一時金支給事業で、当初予算を2人分84万円とした理由

は何か。

答 前年度の実績を加味して予算を計上した。昨年度の実績は1人42万円である。(抜粋)

森田議長の議会概説(9)A

問 長和町議会の役割は。

答 地方自治法では地方議会について、八十九条「普通地方公共団体に議会を置く」との規定しかありませんでした。今回の改正八十九条で「普通地方公共団体に…議事機関として、…住民が選挙した議員をもつて組織される議会を置く」、…議会は…普通地方公共団体の重要な意思決定に関する事件を議決し…検査及び調査その他の権限を行使する」、…議会の議員は、住民の負託を受け、誠実にその職

■ 令和5年5月8日に地方自治法の一部を改正する法律が交付され、地方議会の役割や議員の心構えなどが明確化されました。

務を行わなければならない」と、議会の役割及び議員の職務等がようやくしっかりと規定されました。改正は5月8日に交付施行されました。これにより、議会が「町の重要な意思決定」を行う役割を持つことがはっきりとしました。



- 1, <sup>たふく こうき</sup>田福光規 議員 …………… P. 7  
 (1) 当町の移住・定住対策と『空き家バンク』の取り組みの現状と課題について
- 2, <sup>おぎの ともかず</sup>荻野友一 議員 …………… P. 8  
 (1) 中山道の保存と活用について
- 3, <sup>さとう けいち</sup>佐藤恵一 議員 …………… P. 9  
 (1) 脱炭素型社会を目指して、再エネに取り組むのか
- 4, <sup>たつの かずゆき</sup>龍野一幸 議員 …………… P.10  
 (1) 少子化対策たたき台について  
 (2) 移住・定住促進対策について
- 5, <sup>わたなべ ひさと</sup>渡辺久人 議員 …………… P.11  
 (1) 自治体首長アンケートについて  
 (2) 巡回バスの検証について
- 6, <sup>はらだ えしろう</sup>原田恵召 議員 …………… P.12  
 (1) 犯罪被害者等支援条例について  
 (2) 第1、第5分団の詰所移転及び分団のトイレの状況は  
 (3) 課の設置条例について  
 (4) 一般質問で答弁した回答の進捗状況は
- 7, <sup>あべ ゆきこ</sup>阿部由紀子 議員 …………… P.13  
 (1) 和田小学校と和田保育園の現状と今後について  
 (2) 町内の花壇整備の課題について  
 (3) 「掘る女」の町内小中学校での上映について
- 8, <sup>は た きみお</sup>羽田公夫 議員 …………… P.14  
 (1) キャンプ場の危機管理について  
 (2) 中学校部活動の「地域移行」について

# 質一般

# 問般

## 8人の議員が

# 町政を問う！

6月定例会では、6月6日(火)6月7日(水)に一般質問が行われ、8人の議員が町の課題について質しました。

★議員の質問時間は、答弁を含め60分以内です。「議会だより」では、誌面の都合上、質問議員が質問と答弁を要約して掲載しています。





田福 光規  
議員

当町の移住・定住対策と『空き家バンク』の取り組みの現状と課題について

# 空き家の所有者も補助金支給対象者に！

## 補助金交付要綱の改正を検討したい

**問** 当町の空き家改修等補助金支給対象者は町外からの移住者のみとなっております。空き家の所有者は対象外である。「長和町空き家改修費等補助金交付要綱」の見直しを行い、「空き家バンク」に登録した空き家の所有者も、家財道具等の処分経費の補助金支給対象者に加えるよう、検討を。

**答** 企画財政課長 空き家の利用を促進していくためには、空き家物件に残されている家財道具等の有無が、空き家を利用するかどうかの大きな要因になると思われるので、買主だけでなく売主も家財道具等の処分経費に補助金を活用できるように、他市町村の事例を参考

にしなから要綱の改正を検討したいと考える。

**問** 現在、町と協定を結んでいる不動産業者は、1業者だけとなっている。複数の業者と協定を結ぶべきではないか。

**答** 企画財政課長 空き家バ

ンクの運営に協力を得ることができた不動産業者が1社のため、現在の運用となっている。今後は宅建協会会員等にも協力を依頼して提携先を増やし、長和町の空き家バンクの充実を目指していきたい。

ンクの運営に協力を得ることができた不動産業者が1社のため、現在の運用となっている。今後は宅建協会会員等にも協力を依頼して提携先を増やし、長和町の空き家バンクの充実を目指していきたい。

### 「空き家バンク」HPのリニューアル 町のHPと併せて対応していきたい

**問** 今年度の町ホームページ（HP）のリニューアルにあたり、長和町の魅力を画像と言葉で伝え、「来て」ではなく、「来たい」人を増やすHPにしてほしい。空き家バンクのHPは、町のHPとは別に単独で作成することだが、是非とも、今

年度中に体制と補正予算を組んで、作成を行って頂きたい。

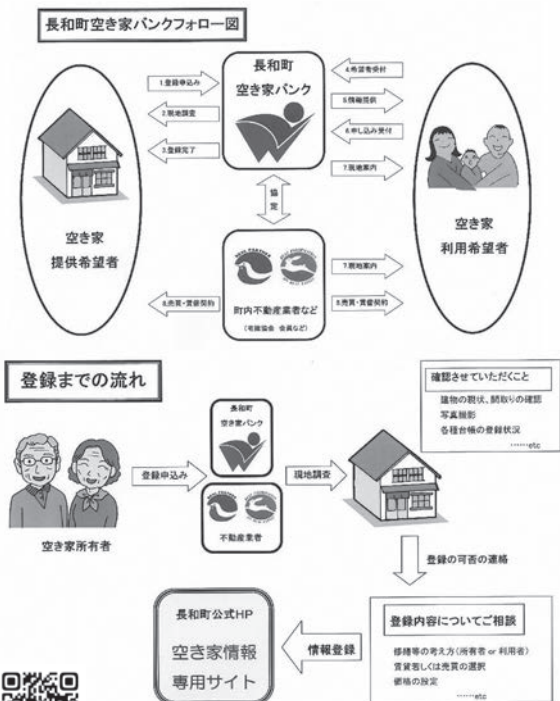
**答** 情報広報課長 現在の空き家バンクのページは、町HPの中の一つの情報として作成、運用されており、デザインや内容に制約がある。町HPのリニューアル

を機に空き家バンクのHPを単独で作成し、空き家の登録希望者や移住希望者が使いやすいものを導入することも必要ではないかと考えている。

を機に空き家バンクのHPを単独で作成し、空き家の登録希望者や移住希望者が使いやすいものを導入することも必要ではないかと考えている。

**答** 企画財政課長 空き家バンクのHPを単独で作成す

る場合は、関連業務に係わる事業者へ委託することになると考えられる。本年度中に作成する場合は補正予算による対応となる。町HPのリニューアルに合わせ対応できるようにしていきたい。（抜粋）



「長和町空き家バンク」のHPより





萩野 友一  
議員

中山道の保存と活用について

# 中山道の保存と活用をどうするか

## 歴史遺産の保存活用に力を注ぐ

**問** 長和町における中山道の保存はどのように行い、まちづくりの観点からどのように活用していくのか。

**答** 町長 中山道と、長久保宿・和田宿の歴史資産は、町民憲章の序文にあるように、先人らが築き残してきた、世界に誇る町の宝であるので、この歴史遺産の保存活用に力を注いでいく。

**問** 有形指定文化財に係る経費について、令和5年度の予算と、6年度以降の見込みは。

**答** 教育課長 中山道に関わる史跡を含む有形指定文化財の令和5年度予算合計は2864万3千円で、国庫補助1324万5千円、県費補助59万5千円。その他収入70万8千円。一般財源1409万5千円である。令和6年度以降の見込み額について、通常経費は年間600万円前後を見込んでいる。令和6年度は永代人馬施業所の修理事業で

1417万7千円の予算計上を予定しており、うち国庫補助で708万8千円、県費補助で42万5千円を見込む。長久保宿日本陣については、国庫・県費補助事業により修復元整備を予定しており、一昨年の概算事業費で1億2000万円を見込んでいます。

より修復元整備を予定しており、一昨年の概算事業費で1億2000万円を見込んでいます。

**問** 長和町コンシェルジュの活動について、現状とこれからの在り方は。

**答** 産業振興課長 長和町コンシェルジュ育成事業は、訪日外国人旅行者の需要に対応する目的で、英語で観光ガイドができる人材育成事業で、中山道および日本遺産のガイド育成と英語の学びを深め、令和5年度5月現在13名を認定し、認定者を含め23名が参画している。中山道や日本遺産など日本の文化についても深い学びをしており、ガイド力も高まり、「長和町ガイド

グループ・コンシェルジュを発足し観光ガイドとしての活動を開始している。

**問** 長和町の本物の名産品を目指し開発が進む「峠の力餅」について、現状は。

**答** 産業振興課長 令和5年度も県の元気づくり支援金に採択され、峠の力餅のパリエーションを増やすとともに、製造・販売のプロジェクトに参画する事業者を増やしたいと考えている。歴史的背景に基づいた「峠の力餅」を情報発信し、販売促進を図るとともに、県内はもとより、国内、国外からの観光客誘致の一助となり、産業振興に繋がるよう取り組んでいく。(抜粋)



国史跡 歴史の道 中山道





佐藤 恵一  
議員

脱炭素型社会を目指して、再エネに取り組むのか

# 地産地消の再エネの推進の意向はあるか

# 再エネ「実現」に向け推進していきたい

**問** 地産地消の再エネを推進して、町民全体が恩恵をうける町をつくる意向はあるのか。

**答 町長** 地域における再エネの導入は、自然資源を生かして地域産業を支える経済向上につながり、エネルギーの地産地消にもつながるため、進めていくべき事業とし、「宣言」から「実現」に向け、推進していきたい。

**問** 景観条例の制定が先行しているが、今後の地方創生の貢献が可能な再エネについて論議が深まっていない当町において、景観条例のみを先行させる意義は。

**答 地球温暖化・景観対策担当課長** 現時点では景観計画の策定が先行しているが、

同時並行で、再生可能エネルギーについても考えなければならぬと認識している。

**問** なぜ「脱炭素先行地域づくり事業等の交付金」に応募しないのか。

**答 地球温暖化・景観対策担当課長** 町のポテンシャル(潜在能力、将来の可能性・発展性)を調査し、基礎数値把握等のコンサルティング業者の選定を進めている。その調査内容・数値等を活用しながら、地方公共団体実行計画(事務事業編、区域施策編)を策定していく予定である。脱炭素先行地域等の交付金等の交付要件にはこの実行計画の策定が不可欠であり、現時点では応募

までには至らない状況にある。

**問** 再生可能エネルギー施設として「化石燃料併設型ハイオマスボイラー」を町の温泉施設に設置し、化石燃料高騰対策、長和町の里山整備のため等の検討はできないか。

**答 産業振興課長** 脱炭素型社会の実現を目指す上で、「化石燃料併設型ハイオマスボイラー」は有効な施策であると思う。地域の木材を資源として活用していくにあたっては課題もあり、事業者の協力等を含めた体制づくりが重要であると思われる。

**問** 再生可能エネルギーを、病院、古町コミュニティセ

ンター、役場等に設置し、再エネによる病院への電気供給等や災害時のマイクログリッドを構築することを検討できないか。

**答 地球温暖化・景観対策担当課長** 病院への電力供給や

災害時における拠点としての電力量など、太陽光発電設備や蓄電池、配電網をどの程度構築すればいいのかは、専門的な知識を要し、効果の検討も必要かと思うが、構築を検討していくことは可能だと思う。(抜粋)

### ★ 語句解説 ★

**問 エネルギーの地産地消とは？**

**答** 電力の生産と供給を地域内で賄うことで、災害時等の電力エネルギーを安定的に確保すると同時に、エネルギーの効率的活用や地域経済の活性化を目指す取り組み。

**問 マイクログリッドII 小規模電力網とは？**

**答** 地域の太陽光や水力などの小規模な発電施設を結び、安定的に電力を確保する仕組みのことで、災害などの非常時にも地域内に電力供給して被害を軽減することを目的とする。



龍野 一幸  
議員

少子化対策たき台について

## 国の異次元の少子化対策試案に町は

## 国の動向を注視し、しっかり対応していく

**問** 政府は子ども家庭庁を發

足し、「児童手当」「出産費」「保育」「奨学金」「住宅支援」「給食費」など、少子化対策強化策の試案を發表した。財政面、運用面から町はどう捉えているか。

**答 町長** この試案は公表されたばかりで検討には至っていないが、これは3つの基本理念のもと、今後3年間で子育てに係る経済的支援やサービスの向上、共働き・子育ての推進、子育てに対する社会の意識改革などの支援策が掲げられている。山間地にある当町においても深刻な課題であり、国の動向を注視し、正式に決定されればしっかりと対応して行く。

**問** この試案中、給食費の無

償化や出産費補助など、既に取り組んできた事業が多数である。効果性は薄いのでは。

**答 企画財政課長** この試案

が正式決定されたのち、今までの施策と合わせて、更に対応可能なものがあれば対応し、十分な取り組みを

行っていく。

**問** 年収や親の就労に関係な

く0〜2歳児の子どもを預けることができる「こども誰でも通園制度」の試案がある。利用増が予想されるが、保育士は足りるのか。

**答 総務課長** 引き続き町内

への周知をはじめ、ハローワーク等で募集していく。

### 就農希望者に資器材の提供・提案は

### 農地利用最適化推進委員の活動に委ねる

**問** ビニールハウスなどの資

器材が借りられ、町の対応もよかったので長和町に来た、という移住者の声を聞いた。離農を考える方の持つ資器材の有効活用を考えられないか。

**答 産業振興課長** 農地利用

の集積・集約化、遊休農地発生防止、新規参入の推進等、農地利用最適化推進委員の方が取り組みを行っている。離農者と就農希望者のマッチングはこの方達の

活動の中でできればと考える。

国の補助や支援策も活用しながら推進していきたい。

**問** 町民の生活に必要な事業

を行い、経営は順調だが後継者がいない個人事業者がいる。空き家バンクと並行

して事業主を募集する「第三者承継」を推進してはどうか。

**答 企画財政課長** 事業継続

の観点から有効な手段と見る。空き家バンクの新たな展開に結び付くと思う。検討して行く。(抜粋)



ビニールハウス





渡辺 久人  
議員

自治体首長アンケートについて

# 長和町の人口減少は、深刻か

## 少子化は鈍化。国全体で取組む課題である

**問** 今年2月に行われた「全自治体首長アンケート」

で、羽田町長は人口減少・少子化対策として起業・雇用の支援や企業誘致などの地域経済振興対策と回答している、これまで町長は企業誘致を積極的には行わないと理解しているが、政策転換するののか。

**答** 町長 設問の前段での起業・雇用の支援、地域経済振興対策への取り組みに力を入れているという意味である。合わせて、企業誘致を全く否定するわけではなく、町に大きなメリットとなるような機会があれば積極的に取り組むたいと考えている。

**問** 「貴自治体で人口減少・少

子化対策の効果が表れていない場合、それはなぜだと考えますか」の質問に、町長はどのように回答されたか。

**答** 町長 町の人口は減少傾向であるが少子化は鈍化している、この問題は一自治体の施策として対応するより、国全体で取り組んで行くべき課題であると考えている。

**問** 国の原子力発電の基本方針

「ドアtoドア型」のフルデマンド方式も検討

### 巡回バス「ながわごん」新たな体制は

### 「ドアtoドア型」のフルデマンド方式も検討

**問** 令和2年10月から現在の町内巡回バスの運行が開始された。今日までの間、運行・運営状況の検証は実施

された。今日までの間、運行・運営状況の検証は実施

された。今日までの間、運行・運営状況の検証は実施

針に、羽田町長は「どちらかと言えば反対」と回答し

「脱原発」を掲げた。将来のエネルギーの安定供給、脱炭素社会についてどのような考えか、また長和町での具体的な対策は。

**答** 町長 昨年「長和町気候非常事態宣言」を行った。ゼロカーボンへの対応は、現在、国等の補助金・交付金を活用した実現可能な計画を策定中である。

**問** 令和2年の新交通体制

検討時にはデマンド交通も比較された。利用者のニーズに 대응するには、現状の巡回バス体制からさらに利便性を高め、経費も含め効率の良い「ドアtoドア型」などのデマンド交通が理想と思う。新体制に向け検討できな

いかな

いかな

いかな

いかな

**答** 町長 J Rバスより路線



長和町巡回バス「ながわごん」



原田 恵召  
議員

犯罪被災者等支援条例について

## 犯罪被災者等支援条例の制定は

### 被害者に寄り添い、早期に制定したい

**問** 犯罪被災者等支援条例は坂城町で起きた殺人事件で

の被害者(家族)を支援するということから制定された条例である。長和町ではどう考えているのか。

**答** **町長** 長野県内では、坂

城町が令和2年9月に、県が令和4年4月に、佐久市が令和5年4月に、それぞれ制定・施行されるなど、各市町村において条例制定に向けた取り組みを始めているところである。町では先進事例を研究し、犯罪被害に遭われた皆様に寄り添ったものにしていくべきであると考えている。

**問** 佐久市では弁護士費用を支援することになったが、長和町でも条例制定にあわ

せ、弁護士費用を支援する考えはないか。

**答** **町長** 佐久市犯罪被害者

等支援条例では、犯罪被害者等の日常生活を支援するため、民間又は公共のサービスを利用した際の費用の一部を助成する制度を設けており、その中で、法律相談を行った場合の弁護士相談費用の一部を支援するというものである。他市町村の制度を参考に、適切な支援を盛り込む必要があると考えている。

**問** 早期に条例を制定する考えはあるか。いつ頃までに制定するのか。

**答** **町長** できれば年度内、

遅くとも来年度の早い段階には議会に諮りたい。

### 消防第1、第5分団詰所の移転建て替えは

#### 有事の際には危険と認識、憂慮されている

**問** 第1分団及び第5分団詰所は危険な個所にある。移転建て替えの予定は。

**答** **町長** 有事の際には大変

危険ではないかと関係者間で統一した認識をされ、憂慮されている。第一分団が2028年、第五分団が2030年にそれぞれの施設の残存使用年数を迎えるので、その時点で施設の利用や劣化状況等を加味して判断する。防災の際に拠点となる詰所は、重要な役割を担っているため、今後関係者の意見、要望等を加味し、十分協議した中で、移転建

て替えを含めて検討し、長期総合計画実施計画に反映していきたい。

**問** 近年、女性消防団員が増

えてきているが、トイレを整備する考えはないのか。

**答** **総務課長** 施設整備は重

要であると考えている。今後、消防団の意見等も聞きながら、前向きに検討し、計画していきたい。(抜粋)



依田川沿いに立つ長和町消防団第一分団詰所



和田小学校と和田保育園の現状と今後について



阿部 由紀子  
議員

# 保護者から統合への強い要望がある

## 様々な選択肢等を研究、問題に取り組む

強い希望がある。町として

この現状をどう思うか。

**答 教育長** 学校長との懇談

で、昨年度から始まった複式学級について和田小学校職員会の中で検証された少人数学習におけるメリットデメリット、教職員の取り組みについてお聞きした。

現状においてはメリットの部分が大きく、デメリットを解消しながら、現場を中心に取り組みを強化している現状を確認した。

**問** そのメリットデメリットは教職員の取り組みにおいて考えられるものであり、当事者から見たそれではな

い。保護者が考える不安や悩みと比べると温度感に違いがある。人数が少なすぎることににおける切羽詰まった要望である。当事者である子どもたちの成長や保護者の気持ちを一番に優先して考えるべきと思うが。

**答 町長** 昨年度より複式学

級が始まり、少人数校の強味をしっかりと活かした学校運営をしているが、保育園の現状なども考慮し、今後も現状把握、保護者の考え、住宅政策など様々な選択肢等を研究し、この問題に対して継続して取り組んでいく。

### 町内小中学校で「掘る女」の上映会を

#### 実施できるか学校側と協議していく

**問** 映画「掘る女」の上映会

が今年3月町民センターで行われた。学芸員である大竹さんや黒耀石体験ミュージアムも紹介され、長和町が舞台となっている。町の小中学校で上映会をするこ

とを再発見するのではないかと

**答 教育長** 自分の住んでいる町の魅力を再発見できる機会になると思う。地域学習の一環として実施できるか学校側と協議していき

たい。(抜粋)

#### 少人数学習について (答弁から抜粋)

**【メリット】** ■児童と教員が接する時間が多く確保でき、児童の理解が進む ■中学校における調査で、少人数の方が正答率が高くなる傾向がある ■学カテストにおいて成果が出ている ■不登校傾向児童が在籍する割合が、少人数学級の方が低い ■地域住民が子供を育てるコミュニティスクールの取り組みがやりやすい

**【デメリット】** ■多様な考えや意見が出にくく、多様なものの見方や考え方に触れる機会が少ない ■互いの評価が固定されやすく、競争心や向上心が育ちにくい ■人間関係が固定化され、新たな人間関係をつくりにくい ■特定の児童(教員)の言動が集団に与える影響が大きい ■人間関係が崩れると、関係の改善や修復が困難

**【和田小学校におけるデメリット克服のための対応】** ■全校集会、通学年授業等、学級以外での交流の場を位置づける ■経田小学校とのオンラインによる年間継続した交流 ■地域の方々との交流 ■教科担任制による職員の多様な児童の捉え ■ICTの積極的活用



羽田 公夫  
議員

キャンプ場の危機管理について

## キャンプ場での危機管理は大丈夫か

### 各施設の責任のもと対策を講じている

講じている。また、上小地

区安全対策協議会が設置さ

れており、警察や消防・市

町村の団体等が現地にて、

道路状況・案内標識・駐車

場・救急体制等々、安全対

策の多くの項目について調

査・確認を行っている。

**問** 夜間の管理責任者が不在

のキャンプ場もあるが、な

ぜ設置しないのか。

**答** 産業振興課長 夜間の管

理責任者の設置については

各施設によって対応が異な

る。考え方や経緯は施設に

よって違い、それに対する

法的拘束力もない。管理者

不在時の緊急体制に関する

利用者への周知をお願いし

ている。

に進めることが無いよう、

町村の意見を踏まえ、指導

者の確保に係る人的・財政

的支援の拡充を強く申し入

れた。今後も、国・県に対

しては、引き続き意見を述

べていきたい。

いことや、練習場確保、指

導員への報酬や各家庭の経

済的負担の問題、責任の所

在など様々な課題があるた

め、次回の会議が開けない

ない状況である。地域クラ

ブの必要性は年々増してお

り、問題解決のため、県の

教育委員会とも連携を取り

ながら、協議を進めていき

たい。

(抜粋)

## 中学校部活動の地域移行の現状は

### 上田地域の教育委員会で協議を始めている

**問** 中学校の休日における部

活動の「地域移行」が問題

となっており、今年は先進

地区での取り組み・現況が

新聞報道等されている。中

体連でも規制を緩和し、要

件が満たされれば、全国大

会にまで進める道が開かれ

た。上小地域では「地域移

行」がどこまで進んでいる

のか。

**答** 町長 部活動の地域移行

については、私も非常に憂慮

している。国に対し、拙速

**答** 産業振興課長 倒木につ

いては、特に注意深く確認

しながら対応しているとの

ことである。各キャンプ場

ともそれぞれ安全対策等マ

ニュアルを作成し、対策を

取ったところである。

**答** 町長 町内3つのキャン

プ場は、それぞれのコン

セプト・戦略を持ち特色あ

る営業をしている。先般の

キャンプ場の大木が倒れた

事故は大変痛ましく、これ

を受けて町内の状況を聞き

取ったところである。



姫木平キャンプフィールド



# 議会懇談会 委員会視察研修 広域組合議会 活動報告

## ■和田保育園保護者との懇談会

### 園児数の減少 に危機感を 抱きます



Tafuku

社会文教常任委員会は、

和田保育園の保護者の方々が、和田保育園の園児数の減少について危機感を抱いておられるとの声をお聞きしたことから、保護者の方々から直にご意見をお聞きし、今後の長和町の保育や小学校の在り方を考えていくため、4月28日(金)、和田保育園において、懇談会を実施しました。(出された意見や要望について、抜粋

して掲載します。)

#### ■保育園の統合について

▽最近、園児数が10人を切ったあたりから、お母さんたちの間で少しずつ危機感を持ったような話題が出るようになってきた。

▽早く「ながと保育園」と一緒になったほうが良いのではないかと思う。人数が少ないと色々な面でできないことがある。保育園で手厚く見てもらえることは嬉しいが、野球がやりたくても、3人しかいないので

きない、同級生が女の子しかいないのでできない、などの現状がある。運動会を混合で行う場合、男の子と女の子では体格の違いもあり、見ている不思議な感じだ。早く一緒になりたいという気持ちがある中にある。子どものことを考えるとちよつとかわいそうかなというのが本心です。

#### ■小学校の統合も含めて

▽和田小学校では、現在でも、複式学級でなくとも教科により授業を一緒に行う



和田保育園

和田保育園の園児数

組(年齢)	令和4年	令和5年
りす組(0~2歳)	5人	3人
うさぎ組(3歳)	3人	1人
はと組(4歳)	5人	3人
くま組(5歳)	6人	4人
計	19人	11人

ことがある。上の学年が我慢しなければならぬことや、できることも変わってきてしまうので、その部分についてはのびのびとできていないような感想を子どもから聞いたことがある。

▽サッカーなど、やりたくても人数がいなくてできない。女子は、男子と走ることが殆どで、どうしても勝てない。女の子が沢山いれば女の子と走れるのといいう、本人の中で苦しさもあるのではないかと感じる。

▽学習は手厚く見ていただいているので、少人数にメリットはあると思う。子ども

もは色々言わないがどちらがいいのかなと思う。上の子に勉強など見てもらっているが、小学校の統合の方が先かなと思う。

▽保育園を統合しても小学校が分かれてしまうと同じこと。両方が一緒になったほうが色々スムーズに行くと思う。

▽和田保育園は保育をするうえで、環境がとても恵まれていると思う。自然が豊かで園庭に下りる傾斜があり毎日利用することで、基礎体力もつく。この保育園は無くなって欲しくない思いもあるが、子どもたちが集団の中で学ぶことなど、学べる面において違いがあると思う。可能であれば、長門の子にも和田に来てもらうなど、制度を変えてできればいいと思う。

▽自由で遊べる環境はすごく良いと思うが、例えば4人だけの1位と、他の学校での30人40人の中の1位という違いはすごく大きいと思う。皆が平和に暮らしているから競争心がないなどと言われても困る。スムーズに合併することは難しいと思うが、早く承知してもらいたいと思う。

▽このままの少人数で小学校に上がっていくので、一体で考えてほしい。一緒になるなら保育園も小学校も一緒になるという考えの方が良いと思う。

■ 信州上小森林組合依田窪支所との懇談会

豊かな森林資源のさらなる活用を

Harada



信州上小森林組合依田窪支所

3月28日(火)長和町役場庁舎において、信州上小森林組合依田窪支所の高井支所長、田中支所長代理を招き、研修会と懇談会を開催しました。

依田窪支所には21名の職員が配属(組合全体では106名)され、内、現場での技能職員は16名。支所の長和町出身者は1名という。作業は1班4人の4班制で実施されており、平均年齢は38・8歳。平成17年から従前の出来高制に戻し、

効率が上がりが給与も上がっているという。現在はカラマツの値が良く、建築材の合板に使われ、しばらくはこの状況が続くと予想されていました。

森林組合は、植栽から保育・間伐等の手入れ、主伐、更新と、森林資源の循環と公益的機能増進に関わる業務を、補助事業を活用しながら進めています。木材生産量は、平成20年頃は2万立方メートルほどであったものが、平成27年以降は4万立方メートル前後に増えていきます。職員の数が増えているのに生産量が増えているのは、機械化が進めたことよって効率が上がっているからとこのことでした。

長和町の森林はカラマツが48%を占め、戦後造林された56~70年生の林が56%あり、伐期を迎えています。森林資源のさらなる活用が求められています。

(報告: 原田恵石議員)



■ 長和町社会福祉協議会との懇談会



長和町社会福祉協議会との懇談会

# 社協ボランティア登録をお願いします



Watanabe

4月19日(水)、長和町社会福祉協議会(以下「社協」)との懇談会を開催。社協との懇談会は、令和3年6月に続き2回目となります。社協の事業は、地域福祉、介護予防、結婚相談、支えあいサポート等々多岐に渡っています。地域福祉事業では、あゆみ会、傾聴、災害ボランティア、「なつちゃん便」の運用などボランティアを中心とした活動支援を行い、介護予防活動では、これまでの「いきいきサロン」を「通(かよ)いの場」へと発展させています。生活支援では、生活コーディネーターが「地域支え合いマップ」の見直しを行っています。

社協で現在抱える課題として、ボランティアさんの不足と高齢化が進んでおり、ボランティアさんだけでは「なつちゃん便」の運用が困難となってきている、防災に関し

て不安だ、などが上げられました。

また、要望として、より多くの方にボランティア登録をして頂きたいこと、雪かきの支援体制、巡回バスに代わり利便性の良いデマンド交通の導入、結婚相談員への情報提供などが出されました。議会として、社協の課題及び要望に対して、しっかりと取り組んでいくことを確認しました。

(報告：渡辺久人議員)

■ 第3回 議会モニター会議 (第2回委嘱式)

## 政治に向き合い町を活性化したい



Hata

3月定例会から始まった議会モニター制度に、新たに3名の参加者を迎え、5月19日(金)に委嘱式と説明会を行いました。今後、第1回の4名に加えて、計7名のモニターさんに議会活動を見て頂くことになりました。



「議会モニター」第2回委嘱式と会議を開催

議会にしていきたい。そのために皆さんのご意見を伺いたい」との挨拶がありました。

出席された皆さんからは、「政治に対して興味が無かったが、長和町を活性化させたい気持ちはあった。それには政治にきちんと向き合わなければいけない」と思い、その一つとして議会モニターに参加してみようと思つた。「議会モニター制度の案内を見て興味が湧き、行政や議会に関与したい気持ちで応募した。」「若い人が委員会や議会などにあまり参加していない。これから若い世代に参加してもらうために、いろいろな面から学んで意見が出されるようにしていきたい。」等々の参加の動機や意見・要望などが出され、意見交換を行いました。

議会も期待に応えられるよう議会運営に努めます。

(報告：羽田公夫議員)

■(株)長和町振興公社との懇談会



(株)長和町振興公社との懇談会

# (株)振興公社の 経営健全化 に向けて



Oginō

5月19日(金)、長和町役場議場において、(株)長和町振興公社の現状と今後の事業運営について、振興公社と議会の懇談会を行いました。振興公社から柳澤社長と清水税理士、産業振興課担当者、議会議員9名が出席しました。

令和4年4月に、新会社「(株)マウント長和」が設立されたことに伴い、(株)長和町振興公社の事業は、「長門温泉やすらぎの湯」と「道の駅足湯施設」、「和田宿温泉ふれあいの湯・ふれあい食堂」の指定管理、「長和町ケーブルテレビ」の一部委託となっております。

コロナ禍の影響もあり厳しい経営が続く中、第24期決算においては財務状況が改善され債務超過を免れました。令和5年3月に経営健全化方針を作成し、「振興公社あり方検討委員会」を継続実施しています。

清水税理士より、経営

健全化のために資本金の減資を行い、累積欠損を解消し事業規模に見合った資本金にすることについて説明がありました。法人組織の形態についても、株式会社として継続し、経営改善に取り組む姿勢を柳澤社長より説明を受けました。

町民の福祉向上、地域の活性化・産業振興のために振興公社の経営改善に努力を続けて頂きたいと考えます。(報告：荻野友一議員)

■上田地域広域連合議会5月臨時会

## 資源循環型施設の住民説明会7月開催



Watanabe



上田地域広域連合議会5月臨時会

5月24日(水)、上田地域広域連合議会臨時会が開催され、副広域連合長の選任など議案5件、専決処分された補正予算など報告3件が上程され、すべて同意・可決・承認されました。(1)4月実施の坂城町長選挙において再選された、山村弘町長が上田地域広域連合副広域連合長として選任されました。併せて、坂城町議会議員選挙による議員の交代と、青木村選出議員の交代がありました。

(2)上田南部消防署配備水槽付消防ポンプ自動車9240万円、東御消防署配備小型動力ポンプ付水槽車7150万円、上田東北消防署配備救急自動車3649万8千円が契約されました。令和6年3月10日納入期限です。(3)議会全員協議会が開催され、資源循環型施設設基本計画資料が提示されました。この資料は7

月以降の住民説明会での説明資料で、広域連合のホームページにも掲載される予定です。主な内容は施設の基本概要、建設候補地、環境保全対策、防災減災対策、余熱利用計画、建設・維持費などです。(4)4月27日(木)に千葉市で開催された「第46回全国消防長会関東支部消防職員意見発表会」に、長野県代表として、上田広域の山田将太郎消防司令補が出席し、最優秀賞を受賞しました。

(報告：渡辺久人議員)



■ 第4回 議会モニター会議（6月定例会）



「議会モニター会議」を終えて、モニターの皆さんと

# 若い人の意見を 取り入れ 活性化を



▽若い人の意見が少なくないと感じた。消防団などいろいろな場所に向向いて意見を聞いて頂きたい。

▽議員の質問に対して、町の回答が明確でなかった気がした。町民が安心感を感じられる回答がほしい。

▽議会は町が立てた計画の進捗を確認し、計画の見直しなどを提案することで町の将来像は変わるはず。町との関係向上を図り、良い方向に持って

6月29日(木)、長和町役場において、6月定例会を傍聴・視聴して頂いた7名の議会モニターの皆様に参加してお願いし、それを基に第4回モニター会議を開催しました。

会議で出された感想や意見を抜粋して掲載します。

▽ケーブルテレビに加入していない等、議会を傍聴・視聴できない家庭に対し、インターネット等で見られる環境を整備してほしい。

森田議長の議会概説(9)B

● 新型コロナウイルス感染症の分類が5類になり、議会でもアクリルパネルを外しました。

問 「議会(定例会)はどのように進むの？」③

答 定例会の開会を宣告して、次に会議を開き(始め)ます。開会日は概ね次のように進みます。

(1)会議録の公正さを保つため議長以外に2名の会議録署名議員を指名 (2)会期(開会から閉会までの定例会の日数) 議会が活動能力を持つ期間(3)監査委員による例月出納検査等の報告 (4)議案の上程 (5)町長による諸報告及び議案の提案理由の説明 までが終わると暫時休憩

行くことが議会の役目ではないか。

▽常任委員会は5名ずつ、特別委員会は8名で構成されているが、人数が少ないのだから全員で行えば良いのではないか。

他にも別荘、移住、空き家などに関する意見や要望などが出されました。コロナ禍も落ち着き、議会では様々な懇談を実施し、若い方との接点も増やして町の活性化に努めていきます。

(報告：龍野一幸議員)

となります。



■ マチイロアプリを入れると、スマホやタブレットでながらまち議会だよりを見ることが出来ます。



★表紙写真の説明★

〈中山道「和田峠(古峠)〉

慶長7年(1602年)に中山道が設定され、和田宿が置かれました。和田宿から下諏訪宿まで五里八町(約22km)の道筋は慶長19年頃完成したとされます。



の問と 永代人 馬施行 所が国 史跡に

中山道の最高所で最大の難所とされた和田峠(古峠)は、標高約1600m。和田宿からは二里半(約10km)、標高差約800mの上りが続きますが、頂上に出ると視界が開け、遠く御嶽山を望む遙拝所があります。道は昭和53年から58年にかけて、「歴史の道中山道」として整備され、昭和62年に、男女倉口から古峠の間と 永代人 馬施行 所が国 史跡に指定されました。男女倉口からは時折石畳が現れる、林の中の静かな道ですが、現在は大雨の影響で一部歩行困難です(今年度中に復旧する予定です)。

(写真は古峠の御嶽山遙拝所)

# 長和町 あの人を訪ねて

— 第17回 —



かがや さきこ  
加賀谷 咲貴子 さん  
(姫木第二)

## 略歴・活動

1988年北海道北見市生まれ。女子美術大学進学を機に神奈川県に上京。インテリアショップ、アウトドアショップ勤務後、2019年長和町に移住。暇があれば山に登る日々を送っている。

広報常任委員会が町民の皆様を訪ねて、意見や活動をお聞きします。

**問** 長和町に移住されたきっかけは？

**答** 20代前半からアルペンスノーボードに夢中になり、その聖地と呼ばれていたエコーバレースキー場をホームゲレンデにしていたことがきっかけです。  
6年前に前オーナーと知り合い、『登山もスノーボードも好きなら私達の宿を引き継いで住んでみたら？』と誘われ、その翌年、2019年3月に『リゾートインラリー』を正式に引継ぎ、宿泊業の世界に飛び込みました。

**問** 今の仕事への思いは？

**答** 私達の宿は9割ファミリーのお客様を受け入れています。近年小さなお子様の受け入れをやめてしまう宿も増えてきていますが、私達の宿はこれからもずっと子供たちを受け入れる覚悟を決めています。

姫木平は静かで落ち着いた場所ですが、一軒くらい子供たちの賑やかな笑い声が聞こえる宿があってもいいよね！自然の中で走り回り、虫取りしたり星を見て花火をしたり、都心ではできないことが思いきりできる宿

があっても良いよね！と思っています。

いつまでもお客様に感謝の気持ち忘れず、笑い声の絶えない家族が楽しい宿で居続けたいです。

**問** 趣味は何ですか？

**答** 趣味は登山、ランニング、外で体を動かすこと。全国の山へテントを担いで登りに行っています。百名山は45座まで登りました。色んな山を登ってきたんですが、殿城山・大笹峰・霧ヶ峰を周遊できる姫木平ハイキングコースはアルプス・富士山・八ヶ岳が一望できる最高のコースです。歩くに移住してきて良かった！というも思っています。毎年ハーフマラソンには出ています。今年4月には長野マラソンにチャレンジ。無事フルを完走しました。次は松本マラソン・名古屋ウイメンズに参加する予定です。  
夫婦で自然の中で身体を動かすことが好きなので長和町が登山やスポーツでもっと盛り上がり、全国的に知名度が上がれば嬉しいです。

## 長和町議会議員から 町民の皆様へ

議会から町民の皆様へのお知らせや議員の考えなどを掲載しています。第71号は、**荻野友一**議員です。

▼今年も梅雨の時期を迎え、鬱陶しい時間を過ごす日が続いています。  
▼今年は6月に2回も台風の接近があり、各地で線状降水帯が発生するなど水害のニュースが聞かれます。

幸い今年には長和町では災害が発生していませんが、天災は忘れたころにやってきます。▼最近の豪雨は狭い範囲内で起こることも多く、同じ町内においても、他の地区の雨に気づけない場合もあります。自治会または区単位の自主防災組織の活動が大変重要になります。日頃から、ハザードマップの確認や家族内での避難場所や避難経路の確認等、災害に対する準備をしておきましょう。▼災害時の救助や復旧対応の遅れ等が出ないよう取り組んでいきます。

## ながわまち 議会だより

### 広報常任委員会

- 委員長 佐藤 恵一
- 委員 阿部由紀子
- 田福 光規
- 原田 恵召
- 渡辺 久人
- 編集 森田 公明

■ 町政や議会、「議会だより」に関するご意見や感想をお寄せ下さい。

■ 長和町議会事務局 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町 4247-1

電話：0268-75-2059 / FAX：0268-68-4139 / メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp